

報告書抄録

ふりがな	こましやかたいせき							
書名	狛氏館遺跡							
シリーズ名	ほ場整備関係（経営体育成基盤整備事業）遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	42							
編集者名	鈴木康二							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成27年(2015年)3月							
所収遺跡	ふりがな所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
こましやかたいせき 狛氏館遺跡	ひがしおうみし 東近江市 みつやちよう 三津屋町	25205	038	35度 05分 56秒	136度 09分 42秒	20110225) 20131031	3,808㎡	経営体育成基盤 整備事業 (三津屋地区)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
狛氏館遺跡	集落	古代～近世	井戸・溝・土坑 柱穴・小穴		須恵器・土師器・陶磁器 石器			
要約	<p>狛氏館遺跡は、東近江市（旧八日市市）三津屋町に位置する遺跡で、旧八日市市域の西端に位置する。当地は愛知川の左岸中流域に属するが、愛知川は永源寺町の鈴鹿山系から一気に平地に流れ出るため、砂礫が厚く堆積して扇状地を形成している。</p> <p>同遺跡は、平成22年度の『滋賀県遺跡地図』には中世の館跡であると記述されているが、これまで発掘調査はされていなかった。今回の発掘調査では、井戸や溝、土坑、小穴などの遺構と、サヌカイト製の石器や石臼、陶磁器類、などの遺物を確認し、当該地周辺の古来よりの利用状況の一端を捉えることができた。当該地周辺は、古来より『古事記』などにおいて「蒲生野」と記された地域であることから、今回見つかった井戸や溝は、農耕に伴う野井戸や用水路である可能性が高く、水利条件の良くない蒲生野における耕地への開発過程の一端を窺うことができる遺構と考えられる。</p>							